

## 2015年に島根県で初確認されたセアカゴケグモ (クモ目ヒメグモ科) の 確認状況について

皆木 宏明\*

First Detection and Occurrence of *Latrodectus hasseltii* (Thorell)  
in Shimane Prefecture in 2015

Kohmei Minagi

### 1. はじめに

セアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii* は、オーストラリア原産とされる外来種のクモである。メスは体長10mm、オスが体長5mm、メスの体は全体が黒色で腹部背面に赤い帯状の模様に入るためこの名がある。本種は乾燥した環境を好み、人工的な構造物であるコンクリートの建物や器物の窓み、側溝やアングル部分によく営巣する。成体になるまでに要する期間は、25°C環境下でオスが28-45日、メスが45-74日であり、メスの寿命は2-3年である。

日本では1995年に大阪府で初確認され、その後国内での分布拡大を続けており、生態系や人への被害が懸念されることから、外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）で特定外来生物に指定されている。

近年はこれまで記録のなかった都道府県での発見が相次いでおり、2013年には日本海側初記録となった鳥取県を含む5県で、2014年にも新たに1都4県で確認されている。そして2015年に島根県で本種が初確認され、マスコミにも大きく報道された。その後も県内での発見が相次ぎ、今後の分布範囲の拡大が懸念されているところである。

島根県では初確認以降、セアカゴケグモが確認された際には保健所や地元自治体と協力し、発見日や発見場所、発見した状況などの情報収集を行い記録している。

本報告では、これまで島根県が取りまとめた確認記録を基に、2015年の発生状況の報告と今後の発生について考察する。

### 2. 確認記録

#### 2-1 2015年の確認状況

島根県での最初の確認は2015年7月1日であり、県西部の浜田市原井町にある水産加工団地内で発見された。発見された場所は団地内の事業所敷地の側溝で、事業所の職員がセアカゴケグモの成体1個体がいるのに気付き島根県へ報告した。その後職員が周囲の側溝を点検したが見つかったのはその1個体のみであった。

翌7月2日に三瓶自然館に採集個体が持ち込まれ、筆者が本種であると確認、同日島根県庁で行われたセアカゴケグモ確認の記者発表を通じて、本種の発見がマスコミに報道された。発見を受け、島根県と地元自



図1 セアカゴケグモ

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

表1 島根県内でのセアカゴケグモの確認記録(2015\*)

No.	発見日	発見場所	個体 (匹)	場所詳細	発見経緯
1	2015/7/1	島根県浜田市原井町事務所A	1	側溝内部	職員がクモの巣を発見
2	2015/7/3	島根県浜田市熱田町事務所B	1	建物2階ベランダ	職員がベランダでクモを発見
3	2015/7/3	島根県浜田市熱田町事務所C	2	事務所の軒下	職員が近隣での発見を受けてクモの巣を点検し発見
4	2015/7/3	島根県浜田市熱田町福井ふ頭 建物D	1	側溝内部	職員が近隣での発見を受けてクモの巣を点検し発見
5	2015/7/6	島根県浜田市熱田町福井ふ頭 建物E	1	倉庫前シャッタード下床面	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検を実施し発見
6	2015/7/6	島根県浜田市熱田町事務所F	42	グレーチング側溝	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検し発見
7	2015/7/6	島根県浜田市熱田町事務所B	1	2階ベランダ窓枠の下	職員が発見した
8	2015/7/13	島根県浜田市笠柄町事務所G	1	1階エアコン室外機の中	エアコン室外機のメンテナンス中に発見
9	2015/7/15	島根県浜田市熱田町事務所B	7	建物2階ベランダ壁下構内プラント足場裏	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検を実施し発見
10	2015/7/15	島根県浜田市熱田町事務所F	4	フェンス支柱下部、駐車場ブロック、建物外壁下部	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検を実施し発見
11	2015/7/21	島根県浜田市熱田町福井ふ頭 建物D	1	変電設備の開閉扉下部の隙間	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検を実施し発見
12	2015/7/22	島根県出雲市湖陵町宿泊施設H	1	施設玄関前	掃き掃除をした際、塵取に入っていた
13	2015/7/22	島根県浜田市熱田町事務所B	2	構内プラントの配管部	浜田港湾振興センターからの指示を受け点検を実施し発見
14	2015/7/28	島根県浜田市熱田町事務所C	1	建物外壁の隙間	-
15	2015/7/28	島根県浜田市原井町事務所I	1	工場裏の止水栓付近	-
16	2015/7/30	島根県浜田市熱田町事務所F	1	外壁水切り部の隙間	駆除のために周辺に殺虫剤散布、後日発見
17	2015/8/2	島根県浜田市熱田町事務所C	5	外壁水切り部の隙間	警備員が夜間パトロール中に発見
18	2015/8/5	島根県浜田市熱田町事務所C	2	外壁水切り部の隙間	警備員が夜間パトロール中に発見
19	2015/8/6	島根県浜田市熱田町事務所B	5	建物軒下、軒下におかれていたパイプの裏	職員が職務中に発見
20	2015/8/8	島根県浜田市熱田町事務所F	3	側溝	職員が職務中に発見
21	2015/8/10	島根県浜田市熱田町事務所C	3	外壁水切り部の隙間	警備員が夜間パトロール中に発見
22	2015/8/11	島根県浜田市原井町事務所J	1	事業所敷地内の花壇下部	職員が花壇の清掃中に発見
23	2015/8/18	島根県浜田市原井町事務所J	1	駐車場	職員が施設周辺の除草作業中に発見
24	2015/8/21	島根県浜田市原井町事務所K	1	施設階段	施設の清掃員が発見
25	2015/9/18	島根県浜田市熱田町事務所F	6	フェンス下部	職員が発見
26	2015/10/12	島根県出雲市湖陵町宿泊施設H	1	ボイラー機械室入口	職員が発見
合計確認個体			96		

\*2015年11月末までに島根県が確認した記録

治体による道路や港湾施設の点検及び周辺施設にある民間を含む事業所の建物の周囲、敷地内の自主点検が行われた。その結果、7月3日には第一発見場所の隣町である浜田市熱田町の3ヶ所で計4個体、続いて7月6日に同じ浜田市熱田町の別の3ヶ所で新たに発見が相次いだ。また、そのうちの1ヶ所では幼体を含め1度に42個体と多数の個体が確認された。

その後も浜田市内での発見が続いたが、7月22日には浜田市以外で初となる確認が報告された。場所は県東部の出雲市湖陵町にある宿泊施設の玄関前で、職員が清掃中に1個体を発見した。

8月に入ても浜田市を中心に発見が相次ぎ、このうち浜田市の4ヶ所及び出雲市の1ヶ所では複数回確認された。その結果、2015年11月末までに島根県に報告のあったセアカゴケグモの確認記録は、計11ヶ所で26件96個体となった（表1）。またこのうち少なくとも7ヶ所では若齢個体も含まれていた。

なお、確認された個体はすべて駆除され、一部は液体標本として島根県立三瓶自然館で保管されている。これまでに、県内で本種による刺咬などの人的被害は報告されていない。

## 2-2 確認された環境の概要

セアカゴケグモが発見された環境の半数は建物の周りであった。特に建物の屋外に面した、壁面の隙間や軒下、外階段での確認が多かった（表2）。他には側溝内やフェンスの隙間、駐車場やプランツの周り等で発見されている。最も多い1ヶ所で42個体が発見された場所は、事業所の舗装された敷地内に設置されたグレーチングのある側溝の中だった。エアコンの室外機内での発見例もあり、いずれも直接雨の当たりにくい、人工物の周りでの発見であったが、屋内での発見例はなかった。

表2 確認場所の概要

発見場所	確認回数*
建物周り（壁面、軒下、階段など）	16
側溝	4
フェンス下部 花壇下	3
プランツ周り	3
駐車場	2
エアコン室外機内	1
	29

\*複数回答含む

## 3. 考察

### 3-1 県内への侵入時期

島根県のセアカゴケグモは2015年に初めて確認された。しかし、隣接する複数ヶ所でまとまった個体数が確認されていること、その中に若齢個体も複数ヶ所含まれていたことから、2015年にはすでに浜田市で定着し繁殖していた可能性が高い。このことから県内への侵入は2015年より前、少なくとも2012-3年頃には県内（浜田市）に侵入していたと考えるのが妥当であろう。

### 3-2 侵入方法

セアカゴケグモは近年急速に国内での分布を広げつつあるが、クモ自身の移動能力は低いとされている（清水ら、2014）。これは、当初から別々の県で港湾部や市街地での確認が続いたことや複数の高速道路のパーキングで多数見つかった例があることから、国内での主な分布の拡大や移動はクモの自力によるものではなく、もっぱら物資の運搬や車両の移動に伴う人為的な移動によると考えられているためである。

島根県で発見された浜田市、出雲市とともに他県の発見場所と離れていることから考えると、県内への侵入もやはり船舶や車両、物資の輸送に付随して人為移動してきた可能性が高い。特に浜田市の発見場所は、県内有数の物流拠点である浜田商港に近い加工流通センターであり、これまで国内で発見してきた場所と類似している。

浜田市の確認地点の中では、浜田市熱田町内での発見回数、個体数が著しく多かった（確認回数18回、88個体）。浜田市内の確認場所はこの熱田町の他に原井町、そして笠柄町といずれも隣接した3町であり、この付近に侵入した後、徐々に数を増やしながら現在分布を拡大しつつあると思われる。もちろん、侵入が1回とは限らず、複数回侵入を繰り返した可能性もある。

出雲市の場合、浜田市の確認場所とは直線で約70km離れており、浜田市の確認地との直接の関連性も低いことから、浜田市とは異なる場所から侵入した可能性が高いだろう。

### 3-3 今後の発生について

セアカゴケグモが外来種として問題となる要因には、強い毒を有することに加え、市街地に定着しやすく年に数回産卵し、繁殖力が高いことがある。また低温にも耐性があることが明らかとなっており、氷点下でも耐性があり、5℃の温度環境下で最長47日生存するなど低温下でも長期間生存する個体がいることが

報告されている (Matsuse et al., 1997, 1999)。出雲市や浜田市の平野部での1-2月の日平均気温が5℃前後であることを考えると、県内での越冬は十分可能であると判断してよいだろう。

また一度駆除された後に再度確認された場所も6ヶ所あった。おそらく確認場所の周辺にも生息していたか、もしくは駆除が不十分であったためだろうと思われる。本種は、市販されているピレスロイド系殺虫剤で十分致死効果が得られるが、営巣の状況によっては薬剤がかかり難く致死率が下がることがわかっており (永田ら, 1997), 幼体が小さく発見しにくいことも関係しているだろう。効果的に駆除を行うためには、できるだけ早期発見に努めること、一度確認された場所ではたとえ1個体の確認であったとしても、その付近に他の個体が生息、繁殖している可能性があるため、定期的に点検することが大切である。出雲市では2個体のみの発見ながら、発見時期が7月と10月と期間を空けて続けて見つかっている。出雲市では発見後に敷地内の点検を行い、追加個体は発見されなかったとのことだが、周辺で繁殖している可能性も否定できず、今後も注意が必要だろう。

本種は人の目の届きにくい構造物やブロックの隙間のような狭い空間にも営巣するため、一度定着すると根絶することは容易ではない。しかし、発生初期であれば発見箇所の周辺を定期的に点検することで、発生数や分布拡大を抑えることができる。ただし、セアカゴケグモの拡散が人為的な移動と関わりが大きいことから、今後も他の生息地から侵入する可能性は年々高くなると予想される。また、今回の記録は島根県で把握しているものだけであり、報告なく発見や駆除された例があった可能性もある。

セアカゴケグモは、日本国内で初めて発見された1995年から数え、ちょうど20年目に島根県で確認されることとなった。1995年以降分布を広げ定着した近畿地方では、当初は最初に確認された港湾や工場敷地内が主な発見場所であったが、その後発見される範

囲が広がるとともに墓地や学校、公園での確認例が目立つようになったという (清水ら, 2014)。県内においても今後も発見が続き、分布が広がりをみせるようであれば、近畿地方と同様に発見される環境が変わっていくと予想される。2016年以降の発見状況を注視しながら、生息状況に合わせた対応が必要だろう。

## 謝 辞

本種の確認情報は、島根県の担当部署である島根県環境生活部自然環境課が取りまとめた記録を了解を得て使用させて頂いた。また、島根県浜田保健所には標本用のクモの採集に協力頂いた。この場を借りて深謝いたします。

## 引 用 文 献

- Matsuse, I.T., C.M. Takeda, K.Kamimura and M.Yoshida (1997) Tolerance of *Latrodectus hasseltii* (Araneae : Theridiidae) to low temperatures in Japan. Medical Entomology and Zoology.48 (2) :117-122
- Matsuse, I.T., K. Kamimura and M.Yoshida (1999) The tolerance of *Latrodectus hasseltii* (Araneae:Theridiidae) to low temperatures Medical Entomology and Zoology.50(1):71-73
- 永田健二・新庄五朗・奥田寿男・吉田政弘 (1997) 各種殺虫剤のセアカゴケグモ*Latrodectus hasseltii*に対する殺虫効力. Medical Entomology and Zoology.48 (2) :135-139
- 二瓶直子・駒形 修・吉田政弘・水谷正時・金田弘幸・小林睦生 (2008) 西宮市におけるセアカゴケグモの防除対策が発生動態に与えた影響. Medical Entomology and Zoology.59(3):153-162
- 清水裕行・金沢 至・西川喜朗 (2014) 日本のゴケグモ類5種の分布状況とセアカゴケグモの分散方法に関する考察. Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 68, 41-51.